

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。138号から構成を見直し、新連載をスタートさせたほか、誌面を「大学の活動」「在学生・教員の活躍」「卒業生の活躍」にブロック分けし、情報の整理を行いました。新しくなった『ONE PURPOSE』を、今後どうぞよろしくお願ひします。また、さいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

大学の活動

特集



今春オープンした 寒梅館を歩く

2

COVER STORY
表紙の情景
【クラーク記念館】



クラーク記念館はドイツのネオ・ゴシックを基調とする重厚な煉瓦建物で、国の重要文化財にも指定されている。1893年の竣工から110年以上を経て傷みが目立ってきたため、文化庁の補助金を受けて2003年4月から約4年半をかけて修復を行っている。

B.W.クラーク夫妻の寄付により建てられたこの建築物は、その印象的な尖塔から同志社のシンボリック的存在として愛され、多くの学生と共に歴史を刻んできた。

竣工当初の名称は「クラーク神学館」で、2階部分にチャペルがあり、礼拝や神学教育の拠点として活用されていた。1963年に現在の神学館が建てられてからは「クラーク記念館」と改称され、神学教育以外にも広く使用されるようになり、より親しみ深い存在となった。

完成予定は2007年12月。竣工当初の姿を取り戻したクラーク記念館は、学生たちと共に新たな歴史を刻んでいくだろう。

同志社の研究は今

技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC)

11

2004年度大学予算について

13

CAMPUS NEWS

溪水館・光喜館が竣工 / 2003年度同志社大学育英賞表彰式 / 公開講演会 シリアにおける教育と宗教 / 95人が参加した第3回京田辺～今出川踏破イベント / トピックス「学校法人同志社が <AA+> の格付けを取得」 / 大江健三郎氏講演会 / 有森裕子さん講演会

15

在学生・教員の活躍

OP COMMENTARY

笹岡 秀一 工学部教授 入社四年を経て思うこと

10

2003年度就職戦線

21

MY PURPOSE

公認会計士第2次試験に合格し、飛び入学で大学院へ。

・峯村 佳典さん(商学研究科商学専攻博士課程(前期課程) 1年次生)

27

卒業生の活躍

卒業生の新刊図書

16

MY JOB, MY LIFE ~シリ-ズ私と「仕事」~

・葛馬 順子さん(1997年 経済学部卒業)

・弓指 直人さん(2001年 工学研究科博士課程(前期課程) 電気工学専攻修了)

23

新島襄の旅した風景 特別編

新島襄の洛中洛外

18

ANNOUNCEMENT

25

今春オープンした

寒梅館

を歩く

一昨年夏から進められてきた大学会館の建て替え工事が完了し、4月1日に「寒梅館」としてオープンしました。外観はニューヨークランド風に一新され、地上7階地下1階、延べ床面積約18,145平方メートル。これまで学生文化活動の拠点として親しまれてきた大学会館の機能を受け継ぎながら、先端設備の充実など、新たに時代に応じた機能を付加した施設として生まれ変わりました。

学生の創造的活動や世代を超えた学術・研究の場としてなど、他大学や地域社会にも広く開かれた場として、さまざまな目的のもとにさまざまな人々が集う、新たな求心力となることをめざしています。





課外活動用施設

集いの空間

多様な人が集い、創造的
的活動を行う

寒梅館には大小2つのホールがあります。赤れんがの内装を基調とした「ハイデールホール」は最大で1,000人収容。新島襄の「アメリカの父」Alpheus Hardy氏にちなんで名付けられました。同志社徽章の愛称を用いた「クロバーホール」は、舞台と客席が可動式になっており、レイアウト次第で100〜200席。演出自在のスタジオ仕様のライブハウス兼ミニシアターです。

ほかにも会議室や、研究開発型ベンチャー企業のためのスペース「インキュベーションルーム」があり、食品の安全性評価法の開発を行う「バイオマーカー研究プロジェクト」をはじめとした3つのプロジェクトが行われています。



クロバーホール





インキュベーションルーム



会議室



ハーディーホール



リーディングスペース

大きな木製のテーブルには、
大学会館の廃材が使用され、
温かみを感じさせます。



中庭

頭上には青空が広がり、風が
吹き抜ける心地よいスペース。
待ち合わせの場所に便利。



和室

畳敷のラウンジで窓から坪庭
が望めます。お茶をたてるこ
ともできます。



アトリウム

暖炉やグランドピアノ、アン
ティーク調の革張りソファ
などがあり、クラシックな雰
囲気のスペースです。

ラウンジ



学生生活施設

ぐるぐるぎの空間



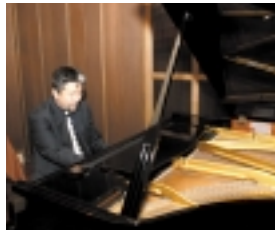
Hamac de Paradis 寒梅館

1階にあるカフェレストラン。店名の「アマール・ド・パナディ」はフランス語で楽園のハンモックという意味です。人気インテリアデザイナー・森田恭通氏の設計による店内はとてもおしゃれで店名のとおり開放的で和める雰囲気。大理石テーブルやオープンテラスで食事が楽しめます。メニューは6種類のランチをはじめ、「ムール貝の香草焼き」や「厳選地鶏のグリルベーコン添え」など、素材にこだわった料理を手頃な値段で味わえます。カフェメニューも充実しており、和菓子や抹茶もおすすめ。酒類もいただけます。

営業時間：11:00～23:00
ラストオーダー22:00
オススメメニュー：
日替りパスタランチ 600円（税込み）
電話番号：075-251-0880



岩水 宏展さん
Hamac de Paradis 寒梅館 店長
開放的な雰囲気のお店です。スタッフにも気軽に声をかけてください。



SECOND HOUSE will

最上階の7階にあるフレンチレストラン。東山を一望できる落ち着いた雰囲気の中、ゆったりとくつろげます。ホテル並のサービスもうれしい。昼は「本日のパスタ」や、本日のリゾット」などのランチが充実、夜は「コースティナー」がおすすめ。和のテイストを加えたり、旬の素材を生かした料理がいただけます。各種アルコールも豊富。月に数回、ジャズピアノの生演奏も楽しめます。6人以上から個室が使用できるので、パーティーや打ち上げにピッタリです。

営業時間：10:00～23:00
ラストオーダー21:00
オススメメニュー：日替りランチ 1,580円（税込み）
電話番号：075-251-0200



宇野 充さん
SECOND HOUSE will 店長
フランス料理だからといって堅苦しくありません。気軽にお越しください。



専門職大学院フロア

学びの空間

司法研究科

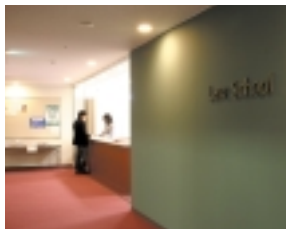
司法制度改革の一環として2004年4月、全国一斉に68校の法科大学院が誕生しました。司法研究科は、入学生員150人、法学既修者約100人



模擬法廷教室 模擬法廷の模様を4台のカメラで撮影してその場で再生することができます。



図書室 24時間利用可能な自習室と共にハードな予習・復習を支える学生の中心施設です。



人材の育成を
目指して
います。

法学未修者約50人の法科大学院です。同志社の基本理念である良心、つまり人間の尊厳を重んじる倫理観と自立の精神を持ち、国際性を備えた個性ある法曹を育てると共に、高度な専門知識に支えられた問題解決能力を持つ



ラウンジ 学生が教室外でも議論できるように、大小多数のテーブルと個人用ロッカーを備えたラウンジを設けています。



教室 受講生と教員、受講生同士が質問や討論などのコミュニケーションを図りやすいようにピット形式の教室になっています。

ビジネス研究科

「一人ひとりの潜在的な能力を引き出し、創造性豊かなビジネスリーダーを輩出する」という理念のもと、2004年4月からスタートした専門職大学院ビジネス研究科。ケーススタディ、ディベートを多用した実践的なナリキコラムとともに、少人数を基本にしたインタラク



タイプな授業を展開します。

仕事と学業が両立できるように、受講コースは、1年履修、2年履修、3年、4年履修から選択でき、また平日の夜間には、寒梅館のほかに大阪・梅田にもサテライトキャンパスを開設しています。



歴史展示施設

寒梅館の歴史展示

案内人 渡辺悦子(同志社大学歴史資料館調査補佐員)

寒梅館に歴史展示施設ができました。計五カ所に点在する展示施設はすべて、発掘にたずさわった学生が中心となって作り上げたものです。

1 石敷き遺構(記憶の庭)

寒梅館東北隅のガラス張り二角屋根すべりのほじまりはごがらで、この真下から、寒梅館建設に伴う発掘調査(2002年)で、石敷き遺構が発見されました。発掘の過程で、徐々に姿をあらわし、その範囲がはきりするにつれ、この石敷きは上杉本洛中洛外図屏風に描かれた室町幕府將軍邸・室町殿(花の御所)に関わる遺構の可能性が高くなり、その歴史性と重要性から保存・公開を行うことが決められました。そして、寒梅館内に、常設の歴史展示を設けることが決まりました。

石敷き遺構の保存・公開に関しては多くの議論が戦わされました。実物保存の観点から、全体の3分の1は現物公開するものの、3分の2はレプリカ展示にする方法が選ばれました。公開されているレプリカの石敷きの下には、実物の石敷きが保存されています。また、ごがらで離れた場所から見かけた花の御所の一部と思われる石組の水路遺構は、出土した時の状況を再現して展示するごがらになりました。

実物の石敷き遺構を見るごがらできるのは東側ののぞき窓からだけで、西側の大きなのぞき窓の下は、レプリカ展示となっております。このような発見され



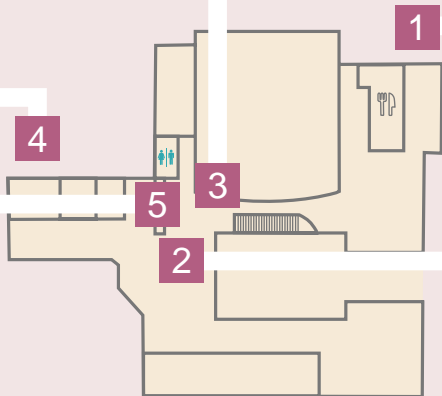
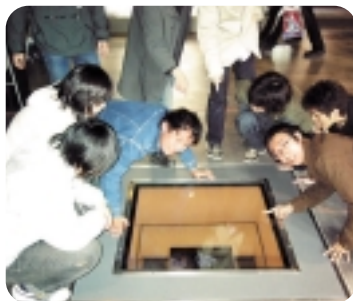
た場所での実物の遺構が恒常的に見られる本格的な展示は、京都市内では初めてのことで、

展示に関わった学生たちが聞いてみました…

- ・遺構そのものが見られることにも新鮮さを感じます。(文学部2年次生・渡部和孝さん)
- ・地中に歴史が眠っていることを実感できます。(文学部2年次生・中村尋さん)。

2 同志社の思い出(時の井戸)

寒梅館の角に、井戸が作られました。とじて、あふれ出るのは地下水ならぬ同志社大学の歴史。地面に埋め込まれたモーターをのぞき込むと、本学の今出川・新町キャンパスや大学会館を中心とした明治時代から現在までの写真が湧き上がるようになってきます。クラク記念館ハス理化学館といったレンガ造りの建物の写真は、キャンパス内に重要文化財を多くもつ同志社大学ならではのよう。



3 上京探索「遺物との対話」

寒梅館小テイクホルの壁面にこれまで同志社大学が行ってきた発掘調査に伴う出土遺物を展示しました。ここでは遺物を「オブジェ」として扱い、遺物そのものの魅力を引き出すことを目標に、観る人それぞれが遺物から想像力を働かせられるよう説明や解説を極力少なくし、遺物の情報を「知る」のではなく、「あれこれ考えてみる」ことを楽しんでいただくよう、さまざまな工夫をこらしています。展示する遺物を選択し、そこからその展示方法まで様々な試行錯誤がくり返されました。

展示は今出川、室町、新町の3つのキャンパスから出土した約30の遺物と3つのモニターが配置され、モニターでは遺物の説明や出土場所のイメージ、時代のイメージ映像が展開し、それに連動して関連する展示ケースの照明が点灯する仕組みになっています。



展示に関わった学生スタッフに聞いてみました...

「ロフト脇という落ち着いた場所にあるので待ち時間などにゆっくり見られそうです。光が移り変わって、いつの間にかクワがあり、自然と引き寄せられます。(文学部4年次生 小西沙織さん)

「古い時代の出土遺物と、最新の展示施設がうまく融合している感じがです。(文学部2年次生 竹井良介さん)

「デザイン性が高く、従来の歴史展示にありがちな大げさな感じじゃないのがいいと思います。目には付くけど邪魔にならず、空間にとってもマッチしています。(文学部2年次生 松本尚子さん)

「大学のキャンパス内にこうした歴史を感じる空間ができるスペースがあり、歴史を身近に感じることができます。(文学部2年次生 谷口浩史さん)

4 よみがえる庭石(魁の間庭石)

寒梅館中庭の北西部辺りから出土した最大長で1.1メートルに及ぶ石です。室町殿より後の16世紀後半以降と推定される「三穴遺構」から出土しましたが、きれいな青灰色でその形状から庭石として用いられていた可能性が考えられました。ひょうとすると、室町殿の庭園を飾っていたのかもしれない。

発掘現場に出るすべての頃にこの石と対面した中川敦之さん(文学部4年次生)は、「室町時代から数百年の時を超えて、再び自分の目の前に庭石となっていて、存在するのことが感慨深いです」と見じます。



5 上京探索「洛中洛外散歩」

洛中洛外屏風は、室町時代後半から江戸初期に数多く描かれた左右二隻で対の屏風絵。なかでも上杉本洛中洛外屏風は現存する屏風の中でも最も著名な作品で、狩野永徳が描き、織田信長から上杉謙信に贈られ、上杉家に伝来したとの由来を持ちます。

上杉本を取り上げたのは屏風に描かれた「室町殿」と実際の遺構が重なる可能性があることから、この屏風絵を軸として同志社大学の位置する上京がどのような歴史を持った場所なのかを考えるきっかけにしようとしたためです。キーワードは上京の歴史を考えること。そこで、上京が描かれる左隻のみを扱っています。

この展示の主な機能は、屏風絵を中

央のテレビスクリーンで表示し、手元の

多手パネルを使って自由自在に拡大・スロー・ストップしながら描かれる16世紀後半の上京を探索する「上京散歩」(「探歩 洛中洛外図」)。また用意した「上京散歩」に当たって、解説付スライドのように洛中洛外図を見ていくメニューもあります。また、寒梅館地点の発掘調査のドキュメントや、当歴史資料館の「上京散歩」をみることもできます。

展示の完成までにはさまざまな紆余曲折がありました。多くの案が浮かんで消えていきました。また、屏風に描かれる風景が現在はどう変化しているかを確かめるために、自転車で上京中を走りまわり、写真におさめようと思いましたが、それらはもちろんこの展示に生かされ、見所の1つとなっています。

発掘調査から関わっている学生スタッフの市澤泰峰さん(文学部4年次生)は、この展示が、自分自身にとっても、見にかけてくれた人たちにとっても、いろいろな意味でいきつかけになってほしい、と語りまします。同志社大学歴史資料館は、この歴史展示が、学生と一般市民がこの寒梅館の建つ本地域の歴史を考える学術財として、また様々な京都の歴史遺産のひとつとして広く活用されることを願っています。皆様の寒梅館「こ来館」をお待ちしています。



その他の施設

サポートの空間



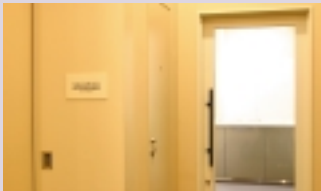
フィットネスルーム

体を動かしてリフレッシュできる、学生や教職員のためのジム。シャワールームも完備しています。



学生支援センター

課外活動団体の支援や相談、学生の利用施設に関する窓口。また、学生生活に関わる各種保険の申請、医療給付およびアルバイト・下宿・寮の紹介や各種奨学金の受付窓口です。



リエゾンオフィス

産官学連携を強化するための窓口。主な業務は、共同研究の計画・実施に関する相談と契約 共同研究の効率的遂行に必要となる管理・運営 情報の発信と提供に関するインフラ整備です。

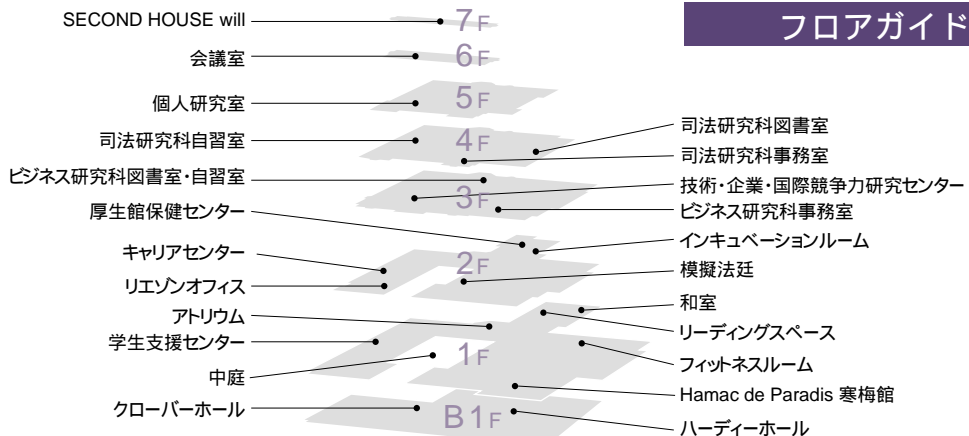


厚生館保健センター

学生の皆さんが充実した学生生活を送れるように、健康面をサポート。年1回の定期健康診断や月～金曜日の午後に診療などを行っています。

キャリアセンター

学生の就職支援だけでなく、低年次生からのキャリア形成の支援やインターンシップの実施、セミナーやガイダンスの開催、個別面談および就職情報システムを利用した最新情報の提供などを行っています。



フロアガイド

入社四年を経て思う(1)として

同志社に入社してから4年が過ぎた。この間、教員生活にも少しづつ慣れてきたが、昨年度は不慣れながら教務主任を務めることにもなった。これがいいい機会かと思いい、入社後に感じたことを書いてみた。

私は、大学院修了後、25年間も国立研究所で研究に携わっていた。ここでは、民間企業ほどでないにしても、研究成果を如何にあげるか、その成果を如何に役立てるかなどコスト・パフォーマンスの追及が重要な世界であった。この間、大学の先生方とは学会等で研究面のお付き合いがあったが、大学教員になってみて、大学の先生方は、総じて非常に教育熱心であることに改めて感心した。また、教育には手間隙と根気が必要で、効率重視の考えに馴染まないと感じた。企業経営のように業績のあがる部分に力を集中して、他を切り捨てるわけにいかない。

さて、同志社の学生(電気系の学生)と接してみて、総じてまじめな学生が多く、勉学に励んでいるようである。しかし、大学時代を有意義に過ごすしてほしいと希望する教員の目からは、一部に残念な学生がいるように思われる。それは、目的と手段が混乱し、手段が目的化して、本来の目的を見失っているのではと思うことがある。

工学部の学生にとって大学の目的の一つ

は、会社に就職して困らない専門知識と社会的な経験を身につけることのように思われる。一般に、知識がより幸せに生きるための道具とすると、知識(道具)を得ること自体に価値があるのでなく、知識を活用することがより重要である。ここで、知識を得ることのみに専念するのはまだしもとして、試験の傾向と対策に熱心で、成績評価を高めることに執着するのは、如何なものかと思う。さらに、ごく一部の学生であるが、大学の目的が卒業証書を得ることのみと歪曲化しているのが、出席も勉強もあまりしないで、効果的に単位をとることにのみ意欲的な人がいる。案をして卒業できるかもしれないが、折角の勉学の機会を無駄にしているように残念である。それとも、社会に出てから真の勉強をするつもりでも思っているのだろうか？

社会に出れば苦勞が多いので、せめて今は楽しくとの考えも一理あるが、社会での苦勞を乗り越える力を大学生活で身につけておいた方がよいと思う。大学での苦勞をピンチと感じるのでなく、貴重な体験ができるチャンスと捉えて、前向きに取り組んでほしいものだ。学生生活を有意義にできるかどうかは、志の高低に依存するところが大きいように思う。大学時代、さらにその後の

人生の目的や目標を見失わないために、今のうちに人それぞれの志を見つけ、志を高くもってほしいものだと思っている。学生時代を有意義に過ごすして、社会で活躍されることを期待する。

ちなみに、30余年前の学生時代を振り返ると、「志を高く」は自分自身に一番必要なことであつたよつな気がする。



工学部教授

笹岡 秀一

Hideichi Sasaoka

1949年大阪府生まれ。
京都大学大学院工学研究科修士課程修了。
郵政省通信総合研究所情報通信部長を経て、2000年度から現職。
専門は、通信工学。
主な著書に『移動通信』など。

同志社の研究は今

国際的なネットワークを構築し、 革新的ビジネス研究を行う

技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC)



昨年7月、文部科学省の21世紀COEプログラムに採択された「技術・企業・国際競争力の総合研究」同プログラムはいま、技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC)を拠点に活発な活動を展開している。センター長のヒュー・ウィットカー同志社ビジネススクール教授にお話を伺った。

企業・技術・国際競争力研究センター(ITEC)は、技術経営、経営とガバナンス、持続可能な競争力、企業教育の分野で、革新的な研究を行い、その成果を発信していくことを目的として、オムロン株式会社からの寄付金をもとに2003年4月に設立されました。当初は、ビジネススクールの研究機関として設立されましたが、同年7月に平成15年度文部科学省の21世紀COEプログラムに、同志社大学の「技術・企業・国際競争力の総合研究」プログラムが採択されたことを受けて、ITECは、オムロンプログラムにCOEプログラムを加え研究開発推進機構に所属する研究機関となりました。所属は移りましたが、ビジネススクールとは、共同プログラムの計画、実施などで連携を図っています。

21世紀COEプログラムとは？

「21世紀COE (Center of Excellence = 卓越した拠点) プログラム」は、日本の大学に世界最高水準の教育拠点を学問分野ごとに作り、創造的な人材育成と国際競争力のある大学づくりのために、文部科学省が重点的に財政支援を行う事業です。2003年度と同プログラムには同志社大学から、「技術・企業・国際競争力の総合研究」と「一神教の学際的研究」の2つの研究プログラムが採択されました。

現在、ビジネス環境の変化と技術革新、技術戦略経営を研究する「技術革新と起業」、企業組織の変革、起業や国家の枠を越える経営活動、知識経営、および企業のガバナンスと社会的責任などを研究する「革新的経営と組織」、そして、安全で持続可能な社会経済システムと整合性を持つ企業活動などを研究する「国際競争力と持続可能性」という3つの研究領域を柱として研究活動を行っています。これらの研究領域の根本にある考え方が、技術と革新的経営(TIME)です。これは、人が働くモチベーションやそれを高める企業組織のあり方、技術の市場価値への転換が個別企業を越えて地域経済・社会の再活性化にどうつながるのかといった点まで視野に入れたものです。この考え方のもと、ITECでは、ハイテク企業家と企業の日英比較研究、「コトボレイトガバナンスと企業パフォーマンス」、「技術戦略と政策」、「グローバルイノベーションと垂直

分業・4カ国における比較研究」など、12の国際共同研究プロジェクトを進めています。

ITECCは、文理横断的な学問背景をもつ多国籍研究者集団です。例えば、科学技術を考えるとき、科学や技術への基本的な理解がないと、技術の正しい評価ができません。このような場合、技術に関して共通の言葉で話れる理系の学者と社会学者と一緒に研究をする必要があります。

また、研究員の約半数が外国人で、日本人のメンバーもこれまでに多様な文化と社会を経験して、それも学者として体験している研究者も多いのです。ケンブリッジ大学やカリフォルニア大学バークレー校をはじめとした世界の大学や研究機関と国際的な研究ネットワークを構築しているのも特徴です。

ITECCは、国際共同研究や比較研究を行う上で、国や専門分野を越えて、より深い理解とより高度な研究をめざしています。



ニュースレター「ノベーロ」

NOVELLOは、英語Innovativeのもとになったラテン語で、「新しい土地を耕す」「ぶどうの木を植える」という意味。このプロジェクトの成果が世界に、そして日本に新しい価値をもたらし、未来創造のために、貢献できることを願って名づける。年2回の発行を予定。

日本が直面している企業や地域経済の再活性化をするために必要なことを調査研究することで、現在の日本の状況を把握して、イギリスとアメリカをはじめ、他の国々の状況と比較研究しながら、地域社会に還元できる研究を進めていく予定です。私たちがめざしている比較研究は、単なる国や同業種での比較ではなく、背景の異なる複数の産業社会・経済における共通点・相違点、その背景となることを考えながら実現可能な方法を政策提言として京都、関西、そして日本の企業にフィードバックしていくということなのです。そのために現実のビジネス問題を研究する事象研究も重要視しています。メンバーはリサーチ・メソッドを磨くとともに、量的研究と質的研究のバランスを考えながら研究していく、その姿勢が大切だと考えています。その研究成果は企業にとどまらず、国や自治体、NGO、国際機関の政策担当者まで、幅広い人々へ還元されることをめざしています。

研究だけでなく、セミナーやPhDワイ

Profile



ヒュー・ウイッター

【ITECセンター長】

ロンドン大学インペリアルカレッジで博士号（産業社会学）を取得。ハーバード大学研究員を経て、ケンブリッジ大学で12年間教鞭をとる。2002年より同志社ビジネススクール教授。専門分野は産業社会学、特に組織イノベーション、雇用関係、中小企業と起業。

クシヨップなど研究者の育成も積極的に行っています。ケンブリッジ大学やカリフォルニア大学バークレー校との共同調査を通して、若手研究員を育成していく他、欧州・米国・アジアの大学の研究者が連携し、TEAMに関する研究者・教育者の養成を行う大学院博士課程（後期課程）プログラムを創設するなどの活動をする予定です。

ITECCは、社会とともにある研究機関として、その活動をワークシヨップ、セミナー、公開シンポジウムの他、インターネットや各種出版物などで、タイムリーに社会還元を図っていきます。

活動の最新情報は、
<http://www.itec.doshisha.jp>をご覧ください。

教育行政の規制緩和により私立大学が一斉に改革のテンポを速める中、国立大学の法人化で私立大学にとって強力なライバルが誕生しました。このような不安定かつ競争激化の時代にこそ、本学は財政基盤の強化を図りながら、建学の精神に基づく教学改革を積極的に推し進めていかなければなりません。

2004年度は本学にとって大きな飛躍の年となりました。新設した政策学部、司法研究科、ビジネス研究科、工学部情報システムデザイン学科および環境システム学科の運営に必要な予算措置を新たに講じます。このほか、教員充実計画の着実な実施、教室等教育環境の充実、次年度に予定する新学部の開設準備、産学連携の推進および知的財産の管理、広報活動の強化等についても重点的に取り組みます。

2004年度予算は、これらの優先的課題に十分配慮しながら、一方で教育研究費の一部見直しや物件費の増加抑制を進めて、限られた財源を効率的に配分すべく編成しています。

収入の部

収入の部では、学生生徒等納付金で専門職大学院の開設による新入生の増加があるものの、臨時的定員増の段階的解消の影響が残るため242億5千万円と、前年度に対して9千万円の減収となる見込みです。これ以外の収入についても確実に収納が見込めるもののみを計上しており、総じて減収となります(主な増減理由は表1に注記)。したがって、帰属収入合計は301億6千万円で、前年度予算に対して7億円の減収となっています。

第2号基本基金取崩額は大規模な建設工事や研究装置等の取得資金に充当するものです。その内訳は夢告館(京田辺校地)の建設資金16億円、工学部新研究室棟の建設資金2億8千万円、研究装置取得費7千万円です。

当期固定資産除却額10億7千万円は、機器備品の償却期間完了によるもののほか、新町校地の臨光館建替えにともなう解体によるものを含んでいます。

借入金1億円は学校債の発行によるものです。特定支出準備金取崩額の内訳は、過年度に受入れたオムロン株式会社からのITEC研究活動宛寄付金6千万円を含みます。

収入の部合計は335億円となり、前年度予算に対して64億8千万円の減少となる見込みです。

支出の部

支出の部では、人件費で、新設学部・研究科の新規採用者および教員充実計画に基づく実質増員分の経費、定期昇給等の必要額を見込むとともに、人件費に含まれる退職給与引当金繰入額が新規採用者数の増加と退職給与引当金引当率の5%引上げに伴い増加する等により、総額では161億5千万円と、前年度比17億6千万円の大幅な増加となります。

事業費は、表1では教育研究経費、管理経費、施設関係支出、設備関係支出に仕訳されていますが、全体では対前年度62億5千万円減の総額141億2千万円を計上しています(事業別予算額は表2参照)。経常的経費については前年度予算を基準として計上し、管理経費については一部の重点項目を除いて極力節減を図ります。建設事業としては、弘風館整備、クラーク記念館保存修理(今出川)、臨光館改築(新町)、文化情報学部の拠点となる夢告館建設、工学部新研究室棟建設、電気容量増加に備えた第2特高電気室建設(京田辺)、およびJR同志社前駅改築などの施設整備を行います。

徴収不能引当金繰入額7千万円は、学費および学貸付金の回収不能額に対する引当金に繰り入れる額です。繰入金には、法人部にかかる収支項目として女子大学の薬学棟建設、女子中高のエレベ

ータ等整備に係る法人部内資金調達額20億円を計上しています。

除却する固定資産のうち、取替更新を上回る除却額は基本金処理として翌年度に繰り延べるため、翌年度基本金組入額繰延額として1億2千万円を計上しています。

第2号基本基金組入額の内訳は教学施設整備資金12億円、情報基盤整備資金2億円、研究装置整備等整備資金1億円であり、いずれも理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は376億2千万円となり、前年度予算に対して36億4千万円の減少となります。

収支差額

収支差額の部では、収入の部合計から支出の部合計を差し引いた当年度消費収支差額が41億2千万円の消費支出超過となります。消費支出準備金を取崩すことにより、最終的には19億1千万円の消費支出超過となる見込みです。

(本文中の金額については1千万円未満を四捨五入しています)

主な新規事業 (単位:千円)

教育研究条件の整備充実	
外国語能力テスト等の実施	11,970
大使講座実施および講義録収録	10,680
一貫教育推進事業	3,860
司法研究科の教育関連事業 (ローライブラリアン委託、国際交流プログラム実施他)	29,570
旧分類資料、アラビア文字資料等の整理	25,610
電子図書館システムの開発	18,920
教務システムのGPA制度対応、WEB科目登録システムの開発	19,040
文化情報学部設置経費	200,000
学術フロンティア推進事業研究費	30,000

教育研究環境の整備充実	
教室のマルチメディア環境の整備	90,380
教室および貸出用マルチメディア、AV機器の更新	37,930
図書館施設設備の整備	11,870
工学部実験実習設備の改修	11,710
教室設備の改善(今出川)	7,600
教室マイク設備管理システムの改修(今出川)	86,100
教室音響設備の整備(京田辺)	8,260

情報処理環境の整備充実	
e-Learning環境等の整備	23,780
寒梅館他教育研究支援およびネットワークシステムの導入	53,880

学生生活支援	
司法研究科奨学金制度の新設	17,800
学生寮の改修	109,300
課外活動の支援 (リーダーズキャンプ、顧問会議実施)	1,200
学生放送局音響調整卓の更新	3,210
多目的ホール機材の更新	4,220

産学連携推進・知的財産管理	
東京イノベーションセンターの開設・運営	2,550
知的財産センター事業の充実	1,170

企画広報活動の充実	
新設学部・大学院開設記念行事	5,070
新設学部・大学院等の広報(入試関連含む)	127,170

施設設備の更新	
弘風館事務室およびトイレの改修	22,790
光塩館空調設備の更新	100,000
寒梅館開館および運営業務	26,770
淡水館個人研究室備品の配備	26,040
副業館防災放送アンプの改修	9,300
真誠館屋上防水工事	15,960
デイヴィス記念館床面湿潤対策	30,000
体育施設保安・安全対策 (ロッカー設置、フェンス増長、ネット取付)	14,060
ESCO(省エネプラン検討)事業委託	5,000

建設事業(本年度支払予定額)	
夢告館の建設(京田辺)	1,941,510
臨光館の改築(新町)	837,140
工学部新研究室棟の建設(京田辺)	556,670
クラーク記念館の保存修理	226,000
弘風館4、5階の整備(今出川)	208,000
JR同志社前駅の改築	143,100
京田辺校地第2特高電気室の建設	140,070
体育会ボート部艇庫の改築	63,420

2004年度収支予算書(表1)

2004(平成16)年4月1日から2005(平成17)年3月31日まで

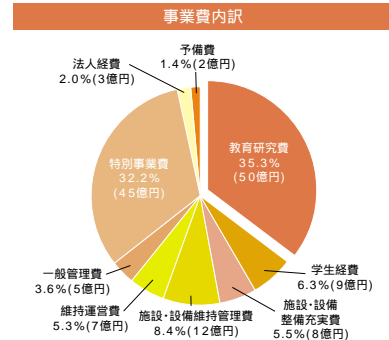
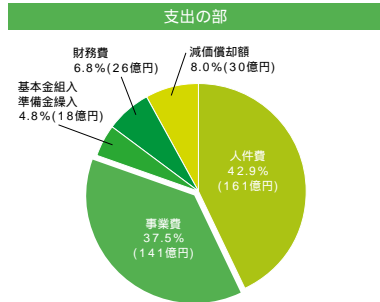
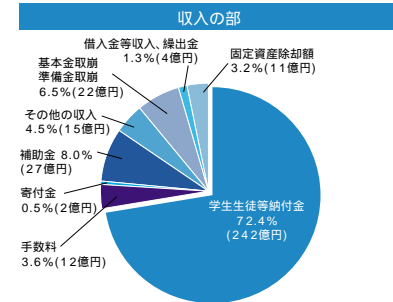
(単位:千円)

科目	収入の部				主な増減理由等
	予算	前年度予算	増	減	
学生生徒等納付金	24,253,990	24,347,060	93,070		臨時的定員の段階的解消に伴う入学定員減少
手数料	1,212,600	1,212,600	0		
寄付金	183,620	509,370	325,750		指定寄付金を計上。前年度はITEC研究活動あて寄付金あり
補助金	2,680,200	3,212,360	532,160		経常費補助金、クラウド記念館保存修理事業補助金を計上
資産運用収入	323,840	355,650	31,810		運用利率低下
資産売却差額	0	0	0		
事業収入	104,180	276,000	171,820		前年度は知的クラスター創成事業あて受託事業収入あり
雑収入	910,450	550,190	360,260		定年退職者の増加に伴う退職金財団交付金収入の増額
繰入金	329,480	280,300	49,180		過年度の法人内資金調達の返済額増加
分担金	160,640	120,170	40,470		
繰戻収入合計	(30,159,000)	(30,863,700)	(704,700)		
第2号基本金取崩額	1,953,500	5,626,810	3,673,310		夢舎館および工学部新研究室棟の建設資金等に充当
当期固定資産除却額	1,073,050	2,188,920	1,115,870		94年度取得固定資産一括除却および旧光館解体
前年度基本金組入繰延額	67,320	561,190	493,870		淡水館その他の解体による基本金の前年度組入繰延額
借入金等収入	100,000	100,000	0		
当期末未払金	0	0	0		
基本金繰入金額、系組入額計	(3,193,870)	(8,476,920)	(5,283,050)		
特定支出準備金取崩額	142,420	635,650	493,230		過年度に受入れた寄付金による事業に充当する取崩額
収入の部合計	[33,495,290]	[39,976,270]	[6,480,980]		

科目	支出の部				主な増減理由等
	予算	前年度予算	増	減	
人件費	16,153,450	14,393,350	1,760,100		教職員増員、退職金財団掛金率増加、退職給付引当金引当率の引上げなど
教育研究経費	10,113,100	10,163,750	50,650		主な新規事業参照
消耗品費	7,192,500	7,431,320	238,820		
減価償却費	2,920,600	2,732,430	188,170		事務館等の建物、備品等固定資産の増加
管理経費	1,340,930	1,241,610	99,320		主な新規事業参照
消耗品費	1,273,990	1,174,840	99,150		
減価償却費	66,940	66,770	170		
借入金等利息	91,230	129,050	37,820		借入金残高の減少
資産処分差額	54,720	5,860	48,860		
徴収不能引当金繰入額	65,770	61,180	4,590		
繰入金	2,000,000	550,000	1,450,000		女子大学、女子中高への法人内資金調達額を計上
予備費	200,000	100,000	100,000		経理規程(經常勘定における繰戻収入の7/1000以上を計上)に基づく
消費支出合計	(30,019,200)	(26,644,800)	(3,374,400)		
施設関係支出	3,782,740	8,602,830	4,820,090		主な新規事業参照
設備関係支出	1,666,460	3,052,020	1,385,560		主な新規事業参照
翌年度基本金組入繰延額	120,840	67,320	53,520		
借入金等返済支出	356,380	590,060	233,680		借入金残高の減少
前期末未払金	0	39,080	39,080		
第2号基本金組入額	1,500,000	1,500,000	0		
第3号基本金組入額	0	455,000	455,000		組入計画の終了
第4号基本金組入額	168,800	57,300	111,500		学校法人会計基準に定める「恒久的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金繰入額、当年度組入額計	(7,595,220)	(14,363,610)	(6,768,390)		
特定支出準備金繰入額	3,790	251,570	247,780		
支出の部合計	[37,618,210]	[41,259,980]	[3,641,770]		

科目	収支差額の部		増	減
	予算	前年度予算		
当年度消費収支差額	(4,122,920)	(1,283,710)	—	—
消費支出準備金繰入額	0	0	—	—
消費支出準備金取崩額	2,209,570	805,380	—	—
繰入取崩後消費収支差額	(1,913,350)	(478,330)	—	—
前年度繰越消費収支差額	[19,488,060]	[19,009,730]	—	—
翌年度繰越消費収支差額	[21,401,410]	[19,488,060]	—	—

収支構成図



収入の部合計 335億円 (うち繰戻収入 301億円)

支出の部合計 376億円 (うち消費支出 300億円)

事業費内訳計 141億円 (うち教育研究費 50億円)

事業別予算書(表2)

(単位:千円)

事業項目	予算
人件費	(16,153,450)
事業費	(14,115,690)
基本金・準備金	(1,793,430)
財務費	(2,568,100)
減価償却額	(2,987,540)
支出の部合計	[37,618,210]

事業項目	予算
教育研究費	(4,983,630)
研究費	1,588,700
研究所経費	133,620
実験実習費	649,350
教育研究援助費	461,070
情報処理教育研究費	784,150
学術情報整備充実費	376,870
国際交流関係費	115,530
入学試験経費	424,640
教学事務運営費	449,700
学生経費	(886,570)
奨学生援助費	406,170
学生生活助育費	283,160
学費	197,240
施設・設備整備充実費	(769,360)
施設・設備等整備充実費	1,588,700
施設・設備維持管理費	(1,185,740)
施設・設備等維持管理費	1,185,740
維持運営費	(746,200)
通信費・光熱水費	746,200
一般管理費	(512,510)
一般管理費	391,920
教職員福利厚生費	(120,590)
特別事業費(建設事業等)	(4,546,450)
法人経費	(285,230)
予備費	(200,000)
事業費小計	[14,115,690]

基本金・準備金内訳	予算
第2号基本金組入額	(1,500,000)
教学施設整備資金	1,200,000
情報基盤整備資金	100,000
研究装置設備等整備資金	200,000
第3号基本金組入額	(0)
第4号基本金組入額	(168,800)
翌年度基本金組入繰延額	(120,840)
前期末未払金	(0)
特定支出準備金繰入額	(3,790)
基本金・準備金小計	[1,793,430]

財務項目	予算
借入金等返済支出	(356,380)
借入金等利息支出	(91,230)
資産処分差額	(54,720)
徴収不能引当金繰入額	(65,770)
繰入金	(2,000,000)
財務費小計	[2,568,100]

Campus News

キャンパスニュース



溪水館・光喜館が竣工

溪水館は、2004年4月に開講した政策学部および2005年4月に開講予定の社会学部が使用する教育・研究施設の一環として、新町キャンパス第1従規館・合宿棟の跡地に建設された。地上4階建てで、1階に研究室事務室、会議室、図書資料室、教員ラウンジおよび考古学の実習室、資料室、収蔵庫を配置し、2階から4階に個人研究室、資料室および共同研究室を設けている。館名は旧溪水館を踏襲したが、この施設の完成により新町キャンパスの一層の活性化が期待される。

また、京田辺キャンパスリザーブ用地R1に、光喜館(エネルギー変換研究センター)が完成した。地下1階、地上3階の4階建てで、地下1階は実験室、1階は実験室のギャラリー、2階は共同研究室と解析室、3階はスライディングウォールつき会議室と研究室が入る。この光喜館は、文部科学省平成15年度私立大学学術研究高度化推進事業の学術フロントエリア推進事業に採択された共同プロジェクト、次世代ゼロエミッション・エネルギー変換システムTMの研究拠点として整備されたもの。研究装置の中でもCO₂ヒートポンプシステム



排熱式投入型吸収式冷凍機とリンクしたガスエナジシンコジェネレーションシステムは、すぐにも応用可能な高効率低公害型システムだ。

2003年度同志社大 学育英賞表彰式

昨年度からスタートした同志社大学育英奨学金奨学生を表彰する第2回育英賞表彰式が、2月18日13時から神学館礼拝堂において執り行われた。

森田章学生部長の司会により、鈴木直人キリスト教文化センター所長の聖書朗読ならびに祈祷の後、八田英二大学長が祝辞を述べた。祝辞ではお祝いの言葉と共に、「育英賞を受賞された皆さんは、今後とも継続してそれぞれの分野を一層深め、益々活

躍されることを強く願っています」旨の激励があった。

その後、学長から出席した74人の奨学生一人一人に同志社大育英賞の表彰状が授与された。

最後に、表彰者を代表して小型コトによる大阪からサンフランシスコまで太平洋横断単独航海に成功した友田享助さん(文学部社会学科新聞学専攻4年次生)が、育英賞をいただき深く感謝いたします。学生時代に日々



積み重ねてきた努力が同志社大に認められて大変嬉しく思います。今後も様々な分野での多くの経験を生かして益々努力し、精進することを誓います」と受賞の喜びと今後の抱負を述べた。

今年度の式典には、平日にもかかわらず遠方からのご父母を含む多数のご家族の出席をいただき、満席の家族席からは、学生が表彰状を授与されるたびに、お祝いと激励の温かい拍手が送られ、礼拝堂に響き渡った。

公開講演会 シリアにおける教育と宗教



3月29日、神学館礼拝堂で、神学部・神学研究科と一神教学際研究センター(CISMOR)の共催で、シリアのイスラーム教育慈善団体シャイフ・アフマド・クワタロウ財団の総長サラーフッディ

ン・クワタロウ師を講師に迎えて公開講演会、シリアにおける教育と宗教」が開催された。

クワタロウ師は、イスラームにおける教育の理念から説き起こし、中世シリアの伝統イスラーム教育の歴史を述べたあと、シリア・アラブ共和国における公教育と私立宗教学校におけるイスラームとキリスト教の教育の現状について具体的に説明した。講演はアラビア語で行われたが、講演のテキストはアラビア語と日本語の対訳のパンフレットが配布され、質疑応答はアラビア語日本語の通訳がついた。なおこの講演録は、アラビア語、日本語、英語で、CISMORのウェブサイトで公開される予定である。

講演の後、中田考神学部教授のコメントに続き、80人あまりの聴講者との

間で活発な質疑応答が行われた。講演会の終了後も、CISMORにて、初めてイスラームの教育哲学に触れて感銘を受けた、などの多くの感想が寄せられている。

95人が参加した第3回 京田辺今出川踏破イベント

京田辺校地から今出川校地までの約35kmを歩く第3回京田辺今出川踏破イベントが3月28日に実施された。

参加者は本学学生の他に教員他大学生、一般の方など幅広く、昨年の約3倍の95人。過去最高の人数となった。今年は、「青春」をテーマに、世代を超えて多くの参加者と達成感や感動を分かち合うのが目的だ。

当日は快晴で絶好のウォーキング日和。アカベラサークル「One Voices」の歌に送られ、9時45分に京田辺校地を出発した。

キャンバスを出て、まず木津川サイ



クリングロードを歩く、明るい陽ざしと川からの風が爽やかで気持ちのよいスタートとなった。コース途中には時代劇によく使われるという木津川にかかる「流れ橋」や延々直進が続く難所の国道一号線、京都タワーの見えるポイントなどがある。京都市内に入り、七条から鴨川沿いの道へ入ると桜が8分咲きで、参加者は春の風景を堪能した。

最後は御所を抜け、19時20分頃に今出川校地に到着。ゴール後には大学生協から豚汁がふるまわれ、参加者の空腹と疲労を癒した。

このイベントを企画したサークルウォーキングプロジェクト歩知(ポチ)の代表森大祐さん(文学部3年次生)は「ゴール後、みなさんから、一生の思い出になった、いろいろな人と仲良くなれ、話している内にあつという間にゴールした。ゴールした後の豚汁の味は格別」などの声をいただき、イベントを実施して本当に良かったと思えました。ウォーキングの魅力は、普段は電車や車で通り過ぎてしまつところを人の移動の原点である徒歩で行くことで、今まで見過ごしていたものが見えてきたり、また景色だけではなく、ゆっくりと歩いているうちに自分自身のことを見つめ直すきっかけにもなるといえます。今後も多くの人にこのイベントに参加して欲しいです。そして、同志社大学の伝統行事の一つになれば嬉しいですね」と語ってくれた。

学校法人同志社が

AA+ の格付けを取得



学校法人同志社は格付投資情報センター(R&I)からAA+ の格付けを取得した。AA+ は21段階ある中で上から2番目で、早稲田大学、慶應義塾と並んで学校法人の格付けとしては、現在のとこトップクラスである。

評価の理由として、京都という国際的に有利な立地条件や長い歴史と社会的影響力を背景に高いブランド力を有し、関西地区で際立った学生募集の力を持つこと、収支財務の安全性・健全性が高いことなどがあげられた。

卒業生の新刊図書

『石を磨く 美術史に隠れた珠玉』

星野桂 さん(1997年商学部卒業)

産経新聞 コースサービス 22000円(税込)

『日本企業の環境報告 問い直される情報開示の意義』

梨岡英理子 さん 他

(1997年総合政策科学研究科 博士課程 前期課程(修了))

財団法人 省エネルギーセンター 25200円(税込)

『儲かる会社は業務委託契約で リスクなく人材を活用する』

吉本俊樹 さん 他 (1993年 法学部卒業) アスカエフ・プロダクツ 16800円(税込)

大江健三郎氏が
寒梅館で講演



ノーベル賞作家の大江健三郎さんが4月14日、寒梅館のホールで「新しい人になるために」というテーマで講演した。この講演会は「寒梅館オープンプログラム」と、新入学生歓迎特別講演会を併せて企画されたもの。当日に配られた入場整理券は配布後1時間でもなくなる盛況ぶりであり会場を埋めたおよそ950人の学生からは熱心に聴き入っていた。

講演の中で大江氏は、17歳の時に書店で出会った渡辺一夫著の『フランスヌマニスムの成立』がきっかけで、東京大学フランス文学科に進み渡辺氏に師事したエピソードを紹介し、「若い時には、自分にとって大切な人を見つめる本能があります。そういう人を見つけて大切にすることが、それから50年生きる上で十分に役立つ」と述べ、渡辺氏から学び得た人間にとって重要な「寛容さ」と「絶望しすぎず、希望を持ちすぎない」という言葉が今でも自分にとって深い

意味をもっている」と語った。

渡辺氏と雰囲気似ている人物として大江氏は、友人の故エドワード・W・サイド氏を挙げ、彼が病床ではつきり自分の意見を述べられなくなつたために泣いたという話を紹介。その上で「朝早く目覚めた時70歳近くになつた私はいつた何物を成してきたのかとつくづく思うことがあります。言葉が明確にする。このことに私は尽力してきました。この点はサイド氏と同じです。政治的な立場、職業の違いを超えて、私たちは明りように言葉で表現することが力になります」と語り、言葉の重要性を説いた。

講演後、学生たちとの質疑応答が行われ、「希望がもてない今の世の中でのどのように生きていけばいいのか」という質問に大江氏は、ほかのノーベル賞受賞者との談話のなかで出た「遠い未来は明るい、近い未来は厳しい」という言葉を紹介し、今の状況を耐え忍ぶことが大切だと述べ、



それが希望へとつながっていくと締めくくった。

有森裕子さんが
京田辺キャンパスで講演



4月23日、バルセロナ、アトラント両オリンピック女子マラソンのメダリストの有森裕子さんを招いて、京田辺キャンパス多目的ホールで新入学生歓迎特別講演会が開かれた。有森さんは、よろこびを力に……というテーマで、会場を埋めた新入学生らを前に、走ることへのこだわりや一生懸命取り組みることの大切さを語った。

「私は走るのが特別好きだったり、速かったりしたわけではありませんでした」と語る有森さんは、生まれてすぐ股関節脱臼をおこす。幼年期は走るのが難しく、まっすぐ歩くのもままならなかったという。それが小学生の時、体育の先生との出会いをきっかけに陸上クラブへ入部し、私自身がマインスと思っていたものをよく褒めてくれる先生でした。勉強もスポーツも苦手だった私はその言葉がうれしかった。先生からは

『一生懸命がんばれば、何か必ず何か成し遂げられる』ことを教わりました。

体育教師にあこがれながら、中学ではバスケット、高校、大学では陸上に取り組んだ。しかし、けがが多く満足の結果はひとつも残せなかった。大学4年次の時、走ることをあきらめ、教育実習を終えて教員になる道を選ぼうとしていた有森さんのもとに一本の電話が鳴った。高校の恩師からだ。その言葉は、記録会に出てみろ。だった。練習不足でした。でも結果は優勝。今の自分にしかないことは何かとあらためて考え、走ることをもちと追求したいという結論に至りました。そう語る有森さんは、当時リクルートの監督だった小出義雄氏のもとを訪れ、どうしても走りたいという思いを伝えた。小出監督から返ってきた言葉は、人はどんなにいい素質やテクニックを持っていても、それを本当に活かしたいという意志がなければ意味がない。有森さんのやる気は充分伝わった。その気持ちを買う方向で社と話をしてみよう。だった。リクルートに入社したころで、有森さんの講演は終わるが、その後アスリートとしての道が開け、オリンピックでのメダル獲得へとつながっていく。有森さんは最後に、新入学生に向けて、同志社大学に入って何をしたいか、どういつ人になりたいか、自分のことを必死で考えてください。チャンスは掴もうとする人は、前に進み、夢に到達できるのです」と締めくくった。

新島襄の旅した風景

特別編

新島襄の洛中洛外

文と写真 本井 康博

江戸っ子牧師の京見物

新島襄は神田生まれの「江戸っ子」。京都では「余所者」であった。おまけにアメリカ帰りの牧師で宣教師、ときは、古都ではどこか異星人めいた存在であったか。

新島牧師が初めて入洛したのは33歳の折、1875年4月5日のことで、第4回京都博覧会(3月1日～6月8日)と名所旧跡の見物のためであった。滞在中、思いがけなくも学校設立の好感触を得たので、6月28日に至つて居を大阪から京都に移した。

以後、1889年10月12日に関東での大学設立募金のため離京するまで、およそ14年半に亘つて新島は、京都市民であった。が、募金や渉外、陳情、遊説、伝道、保養、海外旅行のために不在がちで、京都に居た期間は案外短い。

その間、祭り見物や物見遊山は二の次である。公務多忙と度重なる病氣、それに「こは、異教の地」であった。時折訪れる客人や外国人を神社仏閣に案内した形跡も薄い。かと思つて、朝、無鉄砲にも突然、梅見を思い立ち、奈良の月ヶ瀬まで遠出をする。旅館入りが夜の9時、旅館発が翌朝8時。行案としては無茶な強行軍である。

京都見物に関して言えば、皮肉なことに

本格的なものは最初の入洛が最後である。4月1日、新島は大阪(川口)を築つて奈良、木津、宇治、平等院、黄檗山、大津、唐崎、坂本を経て、比叡山に登つた。気が入つたのが翌年の元巨にもD・W・ライネツドやJ・D・デイヴィスと登頂している。延暦寺を見物してから京都側に下山した。後日の入洛「一又は淀川を三十石舟で伏見まで上るのが通例であったが、初回は迂回して4日間かけて洛中に入ったことになる。

以後、24日まで滞在中。当初の滞在日程は3倍にふくれた。観光旅行の予期せぬ副産物として、府知事格の横村正直や知事顧問の山本覺馬と面会でき、学校設立交渉が進捗したからである。「榎から牡丹餅」であった。それでも、お上りさん「よろしく、新島は博覧会場の御所を始め、勸業場(製糸場、織殿、舎密局)、女紅場、八坂塔(法観寺)、清水寺、大谷、三十三間堂、療病院などを精力的に見て廻つた。

さらに6月に京都を再訪した時は、同行した神戸のデイヴィスと学校予定地を物色する傍ら三十三間堂で、「これらの仏像は冬に美しい生徒たちが暖を取るのもつていいだね」と笑いを交えて言つたという。デイヴィスはこれを、「ユモア」と捉えたが、どこか



比叡山 2004年4月5日撮影。手前は同志社岩倉校地(同志社高等学校) 129年前のこの日、新島は比叡山を徒歩で下山して初めて入洛した。

「ブラック・ユモア」めいてい。

平野屋、文阿弥、そして中村楼

ところで、新島は孝行息子であった。安中群馬県(から京都に呼び寄せた両親や甥を時には京都見物に連れ出す。例えば、1881年3月19日、寺町の自宅を人力車で出発。円山の堀内写真店で一同撮影し、平野屋(昼食名物のいもほろろ)の三層楼の円山温泉(1873年~1906年)に登り市内の眺望を楽しんだ。そして知恩院、祇園を見物して帰宅した。続いて7月21日には今度は父親を平等院に案内した。

ちなみに円山当時は後(おたぎ)郡(は新島)は馴染みが深い。東山の麓にはホテル(レストラン)が連なっており、同志社は懇親会や演説会によく利用した。第1回卒業式(1879年)の祝賀会や同志社演説会(1881年)などの会場は文阿弥(おあみ)ホテルであった。さらに1889年秋には脚気治療のため正阿弥(おあみ)にしばらく通って宿泊した。



平野屋(円山公園)今も続く老舗料亭。新島は家族を誘った。



洛東・円山公園(1891年) 右上は三層楼の「円山温泉」。その左下が「也阿弥」ホテル。「明治の京都名所五十一景」(京を語る会、1994年)から。



宇治川(1875年) 新島が最初に訪れた時、ノートに記したスケッチ。のちに新島は実際に釣り糸を垂れている。

他には八坂神社横の中村楼で、市内最大のホテル(新島)という。最初は欧米旅行の送別会(1884年4月4日)、ついで原六郎(とくご)土倉(とくご)の結婚式(1888年2月25日)。新島が司式、北垣国道知事が媒酌を務めた。さらに翌年には6月に卒業祝賀会、10月には同志社社員会(理事会)と下村孝太郎帰国歓迎会が開催された。同志社主催の集会は酒抜きであったので、女将(おかみ)や上戸(じょうご)の賓客は面喰らうたであらう。新島は鹿鳴館で陸奥宗光のため



中村楼(祇園) 同志社や新島がしばしば利用した料亭。

に渡米
送別会
を開い
たとき
も禁酒
原則を
貫いた。

若王子山、吉田山、そして比叡山

さて、同志社は開校してまもなく熊本洋学校から40人近い俊才(せうさい)に言(い)う「熊本(くまもと)パン」ド」を受け入れた。彼らは熊本郊外の花岡山でのキリスト教盟約(1876年1月30日)を記念して、翌年1月に東山(とうざん)若王子山(わくおうじさん)で集会を開き、生徒だけで「聖餐式(せいさんしき)」を執行した。パンを分け、ぶどう酒代わりにミカンを絞った汁を回し飲みしたのである。ところが牧師抜きの聖礼典は宣教師たちから厳しい批判を受けた。

翌年(2月2日)の吉田山の場合は、新島(牧師であった)が生徒60人ほどに同行して自ら司式したので、事なきを得た。その後、会場は校内に移され、学校行事となった。

山と言えは、比叡山である。総じて同志社の生徒は土曜休業によく登った。山室(やまむろ)平など、在学中に60回は下らない、と回顧する。これが平均的な数字か。全校で初めてウサギ狩り(1879年10月20日)をしたのも比叡山であった。

新島の同僚宣教師たちは毎夏、蒸し暑い京の夏を避けて山の中腹に「テント村」を設営した。時には新島(宣教師)も彼らに倣(なま)った。比叡山以外では、手じかには洛外で、本格的には札幌やイタリア、アメリカ東海岸などで避暑をした。

洛西(嵯峨・梅尾・嵐山)

洛外で避暑する場合、新島は洛西(ろせい)を好んだ。嵯峨(さかや)小倉山(こくらさん)常寂光寺(じょうじくこうじ)、梅尾(うめお)梅々(ばいばい)畑(はたけ)嵐山(あらしやま)などである。いずれも寺を借りての自



知恩院三門の修学旅行生 新島も同志社の学生たちとここで写真を撮った。

洛西に対して洛東はどうか。円山以外では知恩院である。生徒集合写真を撮るのに三門前の石階段は絶好のステージであった。1877年秋にイギリスの客人や、熊本バンドなどと撮った記念写真が有名である。行楽中の一瞬であろう。

洛東 知恩院・黒谷・南禅寺

京都の友人 浜岡や中村栄助は、土曜休業には新島を瀬田や宇治、東山などへよく連れ出したと回想する。一度など宇治川で、中村が「急流にご注意を」と忠告したところ、新島は、岩石にしっかりと立ってアメリカ製の針で釣るから大丈夫」と胸を張ったという。忙中閑あり、である。

炊である。寺の選定には有力資、たとえば天竜寺の元坊官、浜岡光哲、坊官は武家で言えは家老に相当の伝手があつたと考えられる。それに洛西は鮎釣りが楽しめた。避暑前に新島は安中の父親に、桂川へ参りアヒを可釣と楽居候、桂川のアヒ六寸余り有之候」と取らぬ狸の皮算用さえてみせる。新島は狩猟同様、釣りに目はがなかつた。



黒谷 会津藩ゆかりの寺で、会津墓地がある(西雲院) 山崎為徳などの最初の埋葬地でもある。

設立への支援を熱烈に訴えた。これは外務省官邸で政財官の大物を集めた募金集会同年7月19日)と並ぶ東西の双璧である。ただ、京都では有力権者が同志社への会場提供に猛反発した。いかにも宗教的首都らしい。

ところで洛東は墓地絡みである。例えば黒谷、当時、キリスト教徒の埋葬は大問題であった。1879年10月に姉の美代が死去した際、新島は黒谷の金戒光明寺に埋葬した。これは黒谷と縁の深い会津藩の山本寛馬(同志社発起人)の斡旋抜きには考えられない。2年後に同志社教員、山崎為徳(岩手県水沢出身)が死去した時も墓は金戒光明寺西雲院であった。もっとも、寺では僧侶があらためて仏葬し直した。

ついで、1887年1月に父が亡くなる。新島は南禅寺天授庵に葬った。その直前に死去した伊勢崎も同所である。峰は同志社教員、伊勢(後に横井)時雄の妻であったので、義父の横井小楠の墓がある天授庵が墓地に選ばれた。新島家は横井家とは遠縁に当たるので、新島は父親の墓の選定では後者の縁故を頼ったのである。

ちなみに新島その人も天授庵に埋葬されるはずであった。が、葬儀前日になって、南禅寺から突然クレームが来たので、やむなく若王子山の市宮墓地に急遽変更された。

これが今の、同志社墓地の端緒である。現在、そこには新島を始め、43基の墓碑が並び、同志社を遠くから見守っている。



南禅寺天授庵 姉や父に続いて、新島もここに埋葬されるはずであった。

著者プロフィール Profile

神学部教授

本井 康博

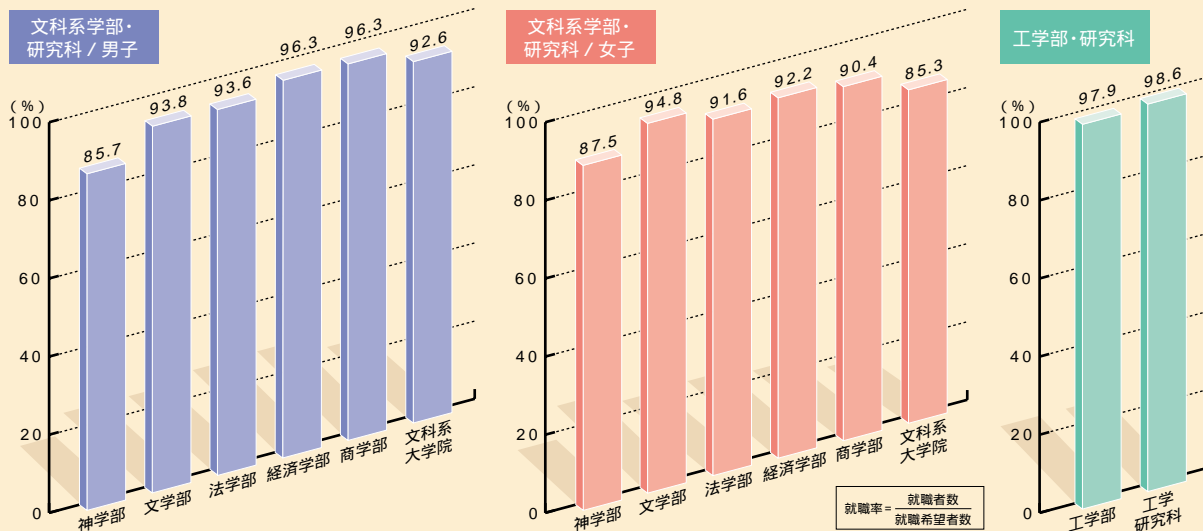
1942年愛知県生まれ。1955年に同志社中学校に入学。1969年、同志社大学経済学研究科修士課程を修了。同志社史料室(今の同志社史料センター)勤務を経て、2004年から神学部で新島・同志社史研究に従事。これまで2度にわたって新島研究功績賞を受賞。著編書は『京都のキリスト教』『現代語で読む新島襄』『同志社教会』『同志社山脈』『新島襄と徳富蘇峰』など。



データでみる 同大生の 2003年度就職戦線

2003年度の就職状況は、就職率94.8%とほぼ昨年どおり比較的好調に推移した。しかし、社会の変化の中で、企業は今後ますます、外国語運用能力、情報活用能力、人間関係を結ぶコミュニケーション能力、さらには問題発見解決能力など、自ら考え行動し成果をあげることができる潜在能力を持った自立した人材を求めている。このような変化の中で、みなさん自身がより高いキャリアを形成するためには、目的を持ち勉強やクラブ活動に充実した大学生活を送ることや、インターンシップ(注1)など学外の体験学習を通じて社会の動きを理解することが大切になる。

就職率

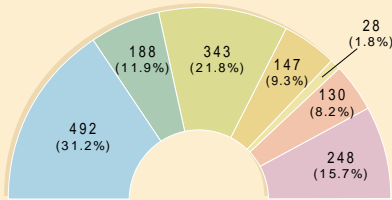


主な就職先と人数

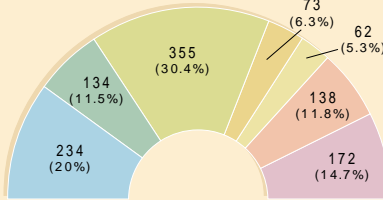
京都銀行	51	キヤノン	14	グラクソ・スミスクライン	9	富士通テン	7	島津製作所	5
日本生命保険	42	国税専門官	14	サントリー	9	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	6	住友生命保険	5
南都銀行	39	デンソー	14	タカラスタンダード	9	関西電力	6	そごう	5
国家公務員 種	37	東京三菱銀行	14	みずほフィナンシャルグループ	9	京セラミタ	6	ソニー	5
三井住友銀行	32	ジェイティービー	13	村田製作所	9	三洋電機	6	瀬田大阪	5
京都中央信用金庫	26	積水ハウス	13	明治安田生命保険	9	商工組合中央金庫	6	武田薬品工業	5
損害保険ジャパン	25	セブン・イレブン・ジャパン	13	エヌ・ティ・ティ・データ	8	新光証券	6	第一生命保険	5
大和証券グループ本社	21	アイシン精機	12	大阪府	8	大日本製薬	6	大王製紙	5
滋賀銀行	20	住友信託銀行	12	オムロン	8	大和ハウス工業	6	中国電力	5
三井住友海上火災保険	19	ノヴァ	12	京都市	8	日本ヒューレット・パッカード	6	ディアンドアイ情報システム	5
京都信用金庫	18	池田銀行	11	滋賀県	8	野村総合研究所	6	トステム	5
東京海上火災保険	18	シャープ	11	スズキ	8	広島銀行	6	西日本旅客鉄道	5
日立製作所	18	東芝	11	日本通運	8	船井電機	6	日本郵政公社	5
京セラ	17	日本電気	11	日本放送協会	8	りそな銀行	6	パイオニア	5
トヨタ自動車	17	マツダ	11	防衛庁職員	8	アイシン・エイ・ダブリュ	5	パソナ	5
日産自動車	17	エヌ・ティ・ティ・コムウェア	10	松下電工	8	尼崎信用金庫	5	百五銀行	5
日本興亜損害保険	17	キーエンス	10	三菱電機	8	エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西	5	ファイザー	5
松下電器産業	17	京都府	10	オリオンバス	7	大阪めいらく	5	藤沢薬品工業	5
ユーエフジェイ銀行	17	大同生命保険	10	十六銀行	7	岡三証券	5	富士通	5
ローム	17	豊田自動織機	10	泉州銀行	7	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	5	三菱信託銀行	5
野村証券	16	萬有製薬	10	中小企業金融公庫	7	関西銀行	5	三菱重工業	5
本田技研工業	16	アストラゼネカ	9	同志社大学	7	クボタ	5	ユーエフジェイ日立システムズ	5
西日本電信電話	15	NECシステムテクノロジー	9	日本アイ・ビー・エム	7	サンゲツ	5	和歌山市	5
村田機械	15	大塚製薬	9	ファーストリテイリング	7	静岡銀行	5		

業種別内定状況

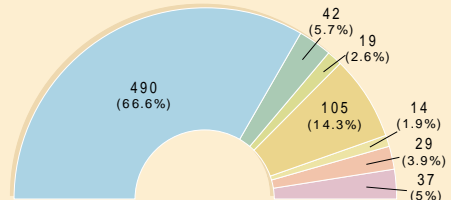
【文科系学部・研究科男子】(人)



【文科系学部・研究科女子】(人)

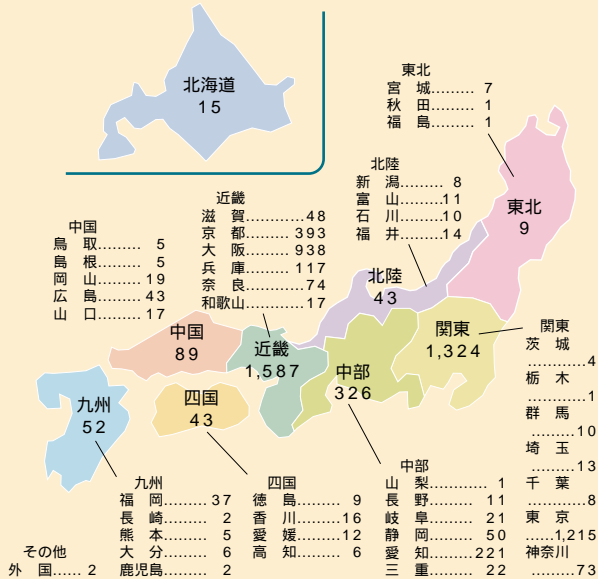


【工学部・研究科】(人)



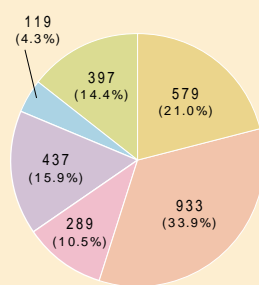
メーカー 流通 金融 マスコミ・情報通信 教育・学習支援 サービス 公共・その他

地区別内定状況(人)

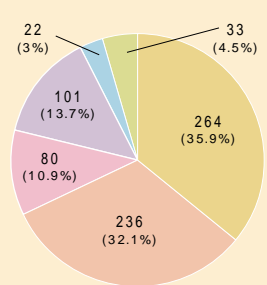


従業員規模別内定状況

【文科系学部・研究科】(人)



【工学部・研究科】(人)



巨大企業 大企業A 大企業B 中企業 小企業 その他

(注)巨大企業=従業員5,000人以上 大企業A=1,000人以上 大企業B=500人以上 中企業=100人以上 小企業=100人未満

データは2004年4月20日現在

(注1)インターンシップ

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うものです。このインターンシップに参加することにより、仕事、職業に対する興味・関心を高め、自らの適性や適職を考える大きな契機となります。本学においては、正課科目「キャリア形成とインターンシップ」として実施していますが、その他にも夏期休暇中に実施される企業主導型のインターンシップもあります。キャリアセンターホームページ「仕事蔵」(注2)でその一部を紹介していますので参考にしてください。

(注2)仕事蔵(ホームページアドレス <http://shushoku.doshisha.ac.jp/>)

キャリアセンターがWeb上においてさまざまな就職情報を提供している就職システムです。求人情報・企業情報や先輩の就職活動体験記などの就職情報の他にもインターンシップ情報も提供しています。

MY JOB
MY LIFE

食品レジ部門の責任者として、従業員40人の教育にあたる。

私の学生生活は、2年次生の1月に起きた阪神・淡路大震災で一変しました。それまではアルバイトに明け暮れる毎日。家計への負担をできるだけ減らしたいという思いから、学業やサークル活動よりもアルバイトを優先していたのです。しかし、震災で西宮市の自宅は半壊。私はこれを契機に、「せうかく助かた命なのだから、一日一日を大事に生きよう。もっと有意義な学生生活を送ろう」と、考え方を変えました。アルバイトを百貨店の進物販売など短期のものに絞る一方、函館キャンパやオープンキャンパスの学生スタッフなど、学内のさまざまな活動に積極的に参加しました。ゼミでは率先して海外旅行を計画。ともに学生生活を謳歌した大勢の仲間が、同志社大学で得た何よりの財産です。

ジャスコ株式会社(現イオン株式会社)に入社

MY LIFE 「仕事」

こんなに話し上手になっていた。
英語でビジネス文書を書いていた。
卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して級友の方々にとっては良き近況報告、生活の現実を考える機会になれば幸いです。



後、大阪、愛媛と転勤し、現在は兵庫県三木市の店舗で食品レジ部門のチーフマネージャーとして勤務しています。主な業務は、パートアルバイト従業員の育成、管理、稼働計画の作成です。部門に所属するのは約40人。食品レジ担当という仕事の性質上、各自に、会社の顔としてお客様に接する」という意識を持ってもらわなければなりません。そのため教育は責任者としての重要な役割です。私は、単に仕事を伝えるだけではなく、なぜその業務という手順が必要なのか、どのような効果が出るのかを各自が納得いくまで説明するように心がけています。そうすれば、淡々と仕事をこなしていた人も自分で考えて行動するようになります。こうして従業員一人ひとりのレベルを高めることが、最終的には総合小売店間の厳しい競争を勝ち抜くことにつながるかと確信しています。

三木店での勤務の他、新規店舗の開店の応援にもあたります。新規採用したパートアルバイト従業員からは、自分たちの手で新しい店を作るんだ」という意欲がひしひしと伝わってきて

指導にも熱が入ります。今後は、今までに培った私なりの工夫をマニュアル化して、新規開店にあたる担当者をフォローするサポート部門に異動したいと考えています。

私は就職活動の際、まず自分の性格を分析してみました。「ノルマに追われるだけの仕事は向いていない」、旅行は好きだが人混みは苦手なので、平日に休みしたい。最終的には、人が生きるために必要不可欠な商品売り、大多数の人が生活をしていくために必ず利用する小売業を知りたい」という思いで、総合小売業に決めたいのですが、性格に合っているからこそ、私は仕事を続けているのだと思います。将来めざすべき方向が見えず迷っているという学生の皆さんは、ネームバリューや待遇だけでなく、その業種が自分の性格に合うかどうかをまず検討してみたいかがでしょうか。今までの人生より長い時間を仕事に費やすことを想像すれば、おのずと選択肢が見えてくると思います。

P R O F I L E

かつらうま じゅんこ
葛馬 順子さん

【1997年経済学部卒業】

イオン株式会社
西日本カンパニー-阪神事業部
三木店 勤務



仲間との旅行が一番の思い出という葛馬さん。「夏期休暇中、2週間かけて北海道を一周する旅行を計画しましたが、道中はハプニングだらけでしたが、先日友人から『あの旅に誘ってもらえて本当に良かった』と言われました。あの頃にはもう戻れないと思うと寂しくなりますが、友情はずっと変わらないでしょう」と語る。休日は実家へ帰り、母と愛犬と過ごす時間を大切にしているそうだ。

シリーズ

MY JOB,

第24回

私と

学生時代、とても無口だったあの人が、
学生時代、英語の苦手だったあの人が、
このシリーズは、毎号それぞれの分野で活躍する
何を考えてきたかを取材しています。
学生諸君には将来のキャリア・プランと学生

MY JOB
MY LIFE

モノづくりが好き。
そのエネルギーを
自動車部品の開発に注ぐ。

学生時代の専門分野は電気工学で、工学部
では電気機器学を、工学研究科ではシステム
応用研究室で藤田 一郎助教授の指導を受け、
照明工学を学びました。藤田先生が研究室に
工作機械を導入していたので、学生は自分た
ちの手で光源の測定に用いる暗箱などの実験
装置を作ることができました。幼い頃から手
動かしてものを作ることが好きだった私にと
って、照明の研究とモノづくりの両方を学べたこ
とは貴重な経験でした。

勉学の方でさまざまなアルバイトも経験
しました。ある時、ふと興味を惹かれて応募し
たアルバイトは、「スマートフォンから流れてくる英
単語の発音の違いを聞き分ける」というもので
した。最初は何の実験なのかわかりませんでした
が、後で聞くとリスニング訓練ソフトの開発モ
ドアイだったそうで、その効果からかTOEIC

の成績が上がりました。また、家電メーカーの
研究所で実験助手のアルバイトをした際に苦
労して使い方を覚えた実験器具は、現在の仕
事ですべての器具と偶然同じものでした。興
味に任せて選んだアルバイトでしたが、どの経
験も今の自分の糧になっていると思います。

現在、私が勤務する部署では、自動車関連
部品の先行開発を行っています。5年後、10年
後の実用化に向け、機能面や環境面で優れた
新製品を企画するのですが、そのアイデアは
机の上ではなかなか生まれません。そこで、私
たち開発部のメンバーは、試作品を搭載した車
両に乗り込み走行試験を繰り返します。ドラ
イバーとしての感覚は、実用化をめざすうえ
でも重要で、チーフシートを片手にリアスト
ップス上で議論を始めることもしばしばです。
このように、優れた製品をつくり出すための不
図面よりもまずモノを見て、実際に触れて考
えることを大事にしています。

モノづくりが好き、そして自動車が好きな私
にして、自動車部品の開発という仕事は適職
だと感じています。しかし、就職を控えた学生
の皆さんの中には、好きな分野、好きな業種だ
けに絞って就職活動をするという不安を抱く
方がいるかもしれません。私の場合は、好きな



P R O F I L E

ゆみさし なおと
弓指 直人さん

【2004年 工学研究科博士課程
(前期課程) 電気工学専攻修了】

アイシン精機株式会社
第一開発部勤務

「機械工学からのアプローチだけでは
解決できない課題にぶつかったとき、
同志社大学で学んだ電気工学の知識
を活かす。それが私の個性になる
と思います。」と語る弓指さん。現在開
発中の製品が市販されるのは早く
ても4、5年先のこと。「技術者はみん
なそうだと思うのですが、新技術を搭載した自動車を目の前にして、『こ
れは私が作ったんだよ』と胸を張って言ってみたいです。」



ことを仕事にしてきたからこそ、辛いことがあ
っても乗り越えられてきたという実感がありま
す。だから、本心に好きなことが見つければ、仕
事をその延長線上に位置づけてもよいと考え
ています。『は、好きなことばかりしていたら見
かるとどうも、それはまず、好奇心を旺盛
に、興味の対象を広げると、私は、電気工
学を専門にしたが機械工学分野に興味の対
象を広げ、自動車部品の開発職を見つけた
ことができました。学問だけでなく、アルバイト
などの活動がそのきっかけになる場合もあり
ます。見つけたあとには、その道を徹底的に追
究することが重要だと思っています。』

休日はドラッグストアに出かけることが多いです
が、運転しながらでも、気付けば新製品のアイ
デアをあれこれ考えています。

「このように、私は仕事に夢中になることがあ
りました。皆さんもぜひ、好きな道に進んで欲
しいと思います。」

CEMENT

卒業生の集い「同志社大学 ホームカミングデー2004」のご案内



卒業生の皆様を、思い出多い「今出川キャンパス」に迎え、旧師や旧友との再会や在学生の活動をとおして母校との「絆」をより深めていただく機会となることを願い、5回目となる「同志社大学ホームカミングデー2004」を開催します。

ご家族・お知り合いの方などお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しくださるようお願いしております。

【日時】 11月7日(日) 10:00 ~ 16:45

【場所】 今出川キャンパス

主なプログラム

- 開会式** 10:00 ~ 同志社礼拝堂
礼拝形式により「同志社創立129周年記念リユニオン」と合同で実施
- 演能** 「国文学専攻創立50周年・国文学会設立40周年記念行事」と共催
金剛流26世宗家 金剛 永謹氏(74文 国文 卒)
- 講演会** 講師 八田 英二 学長
- 卒業生交流レセプション** 「同志社創立129周年記念リユニオン」との共催による卒業生・教職員(含退職者)が一堂に会しての交流・歓談の場
ゼミ・クラス・クラブ・寮などの個別集会
事前の申込により教室の使用も可能
お茶席(野点) 学生による模擬店
- 同志社グッズ、新島関連書籍等の販売コーナー、フリードリンクコーナー**
寒梅館レストラン、学生食堂、購買部も営業
- アトラクション** 在学生・卒業生による音楽団体の競演
人力車クラブによるキャンパス周辺散策
応援団による演舞、演奏
- 展示** 写真展、映画・ビデオ上映
「思い出の学生生活・学園風景」
懐かしの同志社グッズ、入試関係、リエゾンオフィス、新設学部・学科等
- 施設公開** 同志社礼拝堂、寒梅館(大学会館)、クラーク記念館改修工事現場Neesima Room、新島旧邸ほか
- キャンパスツアー**
今出川、京田辺の両キャンパスにおいて実施
- 閉会式** 16:30 ~ 明徳館前広場
全員で同志社ソングを高唱

同日開催

同志社創立129周年記念リユニオン
国文学専攻創立50周年、国文学会設立40周年行事
政法会総会
工学部同窓会リユニオン2004

ご来場の卒業生の方には記念品をご用意しております。

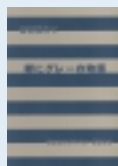
プログラムの内容、時間等の詳細は決まり次第ホームページ(<http://www.doshisha.ac.jp/>)または校友メールマガジン(ホームページから「卒業生の方に」をクリック)でお知らせします。

都合により、プログラムの一部を変更させていただく場合があります。あらかじめご了承願います。

お問い合わせ先 校友課

電話 075-251-3009 / FAX 075-251-3097

E-mail ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp



Present for You

『若草燃えて 紺にグレーの物語
同志社大学ラグビー近年史』
を差し上げます!

「同志社ラグビー」のファンで、同志社で学ぶお二人のご子息をお持ちの錦小路らんまる(本名:前田守康)さんが、このたび『若草燃えて 紺にグレーの物語 同志社大学ラグビー近年史』を出版され、広報課にご寄贈いただきました。抽選で10人の方にプレゼントいたします。ご希望の方は、官製ハガキもしくはE-mailで、住所・氏名・学部(卒業生の方は卒業学部・年度)・『ONE PURPOSE』についての感想をご記入の上、2004年6月30日(消印有効)までにご応募ください。発表は発送をもってかえさせていただきます。*広報課の住所・E-mailアドレスは裏表紙をご覧ください。

本学教員の最新刊

パリ・日本人の心象地図1867-1945

真銅 正宏 他著 藤原書店 4410円(税込)

国際ビジネス英語入門

亀田尚己 著 丸善 2310円(税込)

グローバル化と英語革命:ジャパリッシュのすすめ

渡辺武達 著 論創社 1680円(税込)

ホンネで動かす組織論(ちくま新書)

太田 肇 著 筑摩書房 714円(税込)

障がい学生支援スタッフ大募集

アシスタントスタッフ(有償)

聴覚障がい学生への講義保障...正課授業のノートテイク・手話通訳・パソコン通訳

ボランティアスタッフ(無償)

視覚障がい学生への支援...ガイドヘルプ・対面朗読・代筆など
肢体不自由学生への支援...車椅子介助・代筆など

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 075-251-3270

京田辺校地学生支援課 0744-65-7410

勉強会(開講期間のみ)

【日程・場所】毎週月曜日13:00~14:30今出川校地

寒梅館 今出川校地学生支援課 横BOXのD

毎週木曜日13:00~14:30 京田辺校地 情報メディア館203号室

プール学内一般開放のお知らせ

大学のプール(京田辺校地・屋外)を下記の期間一般開放しますので、ご利用下さい。

【期間】2004年8月2日(月)~31日(火)

ただし、8月16日から20日および土・日曜日を除く

【時間】13:00~16:00

【料金】1人1回300円

【対象】同志社諸学校の学生・生徒および教職員(家族を含む)
学生証を必ず持参してください。

卒業式・入学式 インターネット中継の録画をご覧いただけます

2003年度卒業式・学位授与式および2004年度入学式の当日にインターネットで中継した式典の録画映像を、同志社大学ホームページからオンデマンドでご覧いただけます。当日に見逃した、もう一度式典の様子を見たいという方はぜひ一度アクセスしてください。

【URL】<http://www.doshisha.ac.jp/seikatsu/2004video/live.html>

第31回新島杯争奪 全日本学生英語弁論大会

同志社大学ESSが主催する大学・短期大学生のための英語弁論大会。若者が広く社会にメッセージを送る機会をつくることを目的としています。大会当日は、100校を超える大学等からの参加者の中から、予選を通過した12人が熱弁を振ります。

【日時】6月19日(土) 12:00~17:00(開場 11:00)

【場所】今出川校地同志社礼拝堂

【TEL】080-1929-3968 大会実行委員長

【URL】<http://neesima-trophy.hp.infoseek.co.jp/>

2004年度 同志社地域講座開催

講師や演題等は確定次第ホームページ、校友メールマガジンでお知らせいたします。どなたでもお気軽にお越しください。

【主催】同志社大学、同志社女子大学

当日は同会場において両大学による進学相談会を開催します。

同志社筑後講座

【日時】9月18日(土)14:00~(予定)

【場所】ホテルニュープラザ「筑紫」 福岡県久留米市六ツ門町16-1

【お問い合わせ先】同志社大学校友課

【TEL】075-251-3009

【FAX】075-251-3097

同志社福井講座

【日時】9月25日(土)13:00~(予定)

【場所】福井新聞社「風の森ホール」 福井県福井市大和田56

【お問い合わせ先】同志社女子大学企画課

【TEL】0774-65-8442

【FAX】0774-65-8439

同志社大学 第29回外国文化週間

テーマ：異文化の中の「ニッポン」

【日程】6月21日(月)~25日(金)

【場所】京田辺校地

【入場料】一般公開・入場無料(申込み不要)

講演

【日時】6月21日(月)13:15~

【場所】京田辺校地 恵道館106教室

【テーマ】ロシアのアニメーション監督

ユーリー・ノルシュテインと日本文化

講師 児島宏子氏(翻訳家)

映画

映画 「ライジング・サン」(1993年/アメリカ/128分)

【日時】6月22日(火) 12:45~ 16:45~

【場所】京田辺校地 多目的ホール

講演

【日時】6月24日(木)13:15~

【場所】京田辺校地 恵道館106教室

【テーマ】無法松、アマテラス&ニューエイジのサムライたち

和太鼓に見るグローバル時代のニッポン文化

講師 和泉真澄氏(同志社大学助教授)

舞「鳥の歌」-日本舞踊と講演

【日時】6月25日(金)17:00開場 17:30開演

【場所】京田辺校地 多目的ホール

【テーマ】『日本』と『外国』の狭間で

-日本舞踊家・西川千麗の創作活動-

講師 西川千麗氏(日本舞踊家)

【お問い合わせ先】言語文化教育研究センター

【TEL】0774-65-7070

MyP

挑戦する人

PURPOSE

公認会計士第2次試験に合格し、飛び入学で大学院へ。

～目標は世界へ～

高校3年生の時、不況による企業の倒産やリストアップがよくテレビや新聞で報じられていました。会社に頼らずに生きていくためにも何か資格を取得しておきたい。そんな思いもあり、経済に関心のあった私がめざしたのが公認会計士でした。

商学部に入学後、本格的に勉強を始めました。商学部開設時から存在した会計学研究会にも入会。長い歴史をもつ同会では、先輩から簿記や財務会計を教わる一方、他大学との討論会も数多く経験しました。それらの活動を通して知識の獲得とともに、論理的な思考力が磨かれています。

たように思います。現役学生も出席するOB会では、多くの公認会計士の方たちと話す機会があり、さまざまな刺激を受けました。

試験勉強を続けていくには、高いモチベーションが必要です。短期間ならともかく、長期やる気を保ち続けるのは難しい。その点でも、会計という共通項をもった人たちから得たものは大きいですね。お金を稼ぎたい、高級車に乗りたいたいといったある意味横しまな将来像を描くことまでして、勉強への意欲を保ち続けました。

1年次の終わりから専門学校に通い始め、2年次の夏以降は朝から晩まで缶詰の状態。まさに「勉強の虫」でした。その甲斐があつて、3年次の昨年10月に公認会計士第2次試験に合格。うれしかったですね。

といつてもまだ会計士補。ツールではなくはじまりに過ぎません。会計士補は1年間の実務補習を受ける必要がありますが、そのテキストの厚みはこれまで使っていたものの倍以上。理解しなければならぬ量がぜんぜん違う。一生勉強

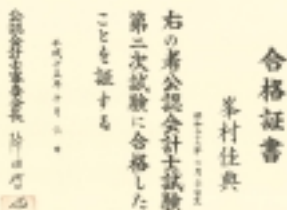
強という言葉を感じました。

この春、もっと深く学びたいという思いから、飛び入学制度を利用して商学研究科へ進むことを選択しました。大学院ではアメリカ会計を研究しています。公認会計士の社会的ニーズは年々高まっております。企業活動のグローバル化や国際的な会計基準の調和化などにもなつて活動の場は世界に広がっています。それにとともに社会的責任も増しています。私は公認会計士にとつて欠かせないもののひとつに倫理観があると思います。その点では、良心を手腕に運用する」といふ教育理念をもつ同志社大学で学生生活を送ってきた意義は大きい。将来は実力だけでなく倫理観を兼ね備えた会計のプロフェッショナルとして世界という大きな舞台で活躍していきたいですね。

Profile



峯村 佳典さん
【商学研究科商学専攻
博士課程(前期課程)
1年次生】



One Purpose

同志社大学通信
FOR BETTER COMMUNICATION

139

2004
June

DOSHISHA UNIVERSITY

特集 今春オープンした寒梅館を歩く

同志社の研究は今 技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC)